



2026年10月6日

各 位

会社名 株式会社アクセルスペースホールディングス
代表者名 代表取締役 中村 友哉
(コード番号：402A 東証グロース市場)
問合せ先 取締役 折原 大吾
(TEL. 03-6704-8708)

2027年5月期 通期業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社は2026年7月14日に公表した2027年5月期 通期業績予想を修正しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正の理由

当社は、2026年9月29日に公表した「AxelGlobe事業の小型衛星「GRUS-3」の不具合に関するお知らせ」において、当社連結子会社である株式会社アクセルスペース（以下、「アクセルスペース」という。）が同年7月7日（日本時間）に上げた小型衛星「GRUS-3」7機のうち、4機において、高速通信系統に不具合が確認されたことを受け、高速通信系統の復旧及び予定していた商用運用が困難であるという結論が報告されたことを公表しておりました。その後も原因究明を進めておりましたが、高速通信系統の不具合は恒久故障であり、不具合が確認された4機については予定していた高速通信系統での画像データのダウンロードによる商用運用は困難であると判断し、2027年5月期第1四半期に減損損失1,879百万円を特別損失として計上することといたしました。

また、当社は、本日公表の「（開示事項の経過）Pale Blue社との軌道上実証サービス提供契約に関する協議開始のお知らせ」において、アクセルスペースが、2025年12月16日付「Pale Blue社との軌道上実証サービス提供に関する契約締結のお知らせ」にて公表した、株式会社Pale Blue（以下、「Pale Blue社」という。）との軌道上実証サービス提供に関する契約について、本契約の解除に関する書面を受領し、10月6日より協議を開始した旨を公表しました。

これらを踏まえ、本日開催の取締役会において、2026年7月14日に公表した2027年5月期通期（2026年6月1日～2027年5月31日）の業績予想（以下「前回発表予想」という。）を修正することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

2. 業績予想の修正の内容

2027年5月期 通期連結業績予想数値の修正（2026年6月1日～2027年5月31日）

	売上高	総収入（ Non-GAAP）＊	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 （A）	百万円 9,000	百万円 10,210	百万円 △800	百万円 △150	百万円 △240	円 銭 △3.60
今回修正予想 （B）	6,700	7,910	△2,300	△1,700	△3,650	△54.72
増減額 （B－A）	△2,300	△2,300	△1,500	△1,550	△3,410	△51.12
増減率 （％）	△25.56	△22.53	－	－	－	－
（参考）前期連結 実績（C） （2026年5月期）	2,508	2,995	△3,822	△3,712	△4,057	△65.84
増減額 （B－C）	4,191	4,914	1,522	2,012	407	11.12
増減率（％）	167.11	164.06	－	－	－	－

注記：総収入はNon-GAAP指標であり、投資家が当社グループの業績を評価する上で、当社が有用と考える財務指標であります。政府系機関等からの補助金収入を売上高に加算して算出しております。

セグメント別内訳：

	AxelLiner事業		AxelGlobe事業	
	売上高	セグメント損失＊	売上高	セグメント損失＊
前回発表予想 （A）	百万円 2,920	百万円 △770	百万円 6,080	百万円 3,400
今回修正予想 （B）	2,460	△1,240	4,240	1,970
増減額 （B－A）	△460	△470	△1,840	△1,430
増減率 （％）	△15.75	－	△30.26	△42.06
（参考）前期連結 実績（C） （2026年5月期）	1,522	△277	986	△1,595
増減額 （B－C）	937	△962	3,253	3,565
増減率（％）	61.60	－	329.97	－

注記：セグメント損失は、連結財務諸表の経常損失と調整を行っております。

売上高につきましてはAxelGlobe事業に供する「GRUS-3」の衛星の一部に不具合が発生したことから、AxelGlobe事業における画像提供が想定より遅れることが見通されたこと及びAxelLiner事業において、アクセルスペースが、Pale Blue社との軌道上実証サービス提供に関する契約について、本契約の

解除に関する書面を受領し、協議を開始したため、現時点で見積もられる最大の影響を織り込んで、前回発表予想を下方修正する見通しとなりました。なお、「GRUS-3」の不具合の経過につきましては、本日公表いたしました「（開示事項の経過）AxelGlobe事業の小型衛星「GRUS-3」の不具合に関する状況のご報告及び「GRUS-3不具合検証アドバイザリーボード」の設置について」をご参照ください。

また、上記の不具合が確認された「GRUS-3」4機に関してはAxelGlobe事業用資産として計上しておりましたが「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、将来の回収可能性を慎重に検討した結果、2027年5月期第1四半期連結会計期間ではAxelGlobe事業において1,879百万円の特別損失を計上しております。親会社株主に帰属する当期純損失は、前回発表予想の240百万円から3,650百万円に下方修正することとなりました。

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社グループが本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。予測に関する記述はリスクや不確実性を内包するものであるため、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

以 上